

富津市教育委員会定例会議 会議録

1	会議の名称	令和6年度第7回富津市教育委員会定例会議
2	開催日時	令和6年10月24日（木） 10時00分から10時30分まで
3	開催場所	市役所4階 401会議室
4	審議等事項	○報告事項 報告第1号 専決事項の報告について（後援申請）
5	出席者名	岡根教育長、池田教育長職務代理者、藤平委員、嶋野委員、今 關委員、中山教育部長、細谷参事兼学校教育課長、樋口教育総 務課長、大畑学校教育課主幹、川島教育センター所長、篠田生 涯学習課長、長谷川公民館長、鶴岡教育総務課庶務係長
6	公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	（理由）
8	傍聴人数	0人 （定員 6人）
9	所管課	教育部教育総務課庶務係 電話 0439-80-1340
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

発 言 者	発 言 内 容
岡根教育長	おはようございます。今日は暑いですが、段々と秋の深まりを感じており、子どもたちの学校生活も実り多き2学期になるよう祈念しているところです。 異常気象と思うほど、大雨、河川の氾濫、竜巻、台風の被害が世界中で起こり、報道されているように思います。災害のない日常を願うばかりですが、「災害は忘れたころにやってくる」と言いますので、備えをしておくことが大切だと思います。 本日は議案が無く、報告が1件です。それでは会議を開催します。忌憚のないご意見をお願いします。 本日の議事録署名委員の指名ですが、今關委員にお願いします。 最初に、教育長報告を申し上げます。1ページをお開きください。 1の富津市長選挙当選証書付与式ですが、投開票日の翌日に選挙管理委員会により執り行われ、議長、副市長、総務部長とともに出席し、選挙管理委員長から当選証書が高橋市長に渡されました。 次に、2の第71回甲州市かつぬまぶどうまつりですが、市長が所用のため代理で出席しました。 甲州市勝沼中央公園に多くのワイナリーの出店があり、イベントを見学しながらワインを楽しむ多くの市民の皆さんが見られ盛会でした。 富津市もブースを構え、商工観光課の職員がマザー牧場のお菓子をプレゼントして、富津市の紹介をしていました。 次に、3の市長就任式ですが、10月7日に大会議室で、議長、副議長を迎えて執り行われました。 市長からは、約100人の幹部職員に対し、「私たちの仕事がこの街をよくするという自覚を皆さんと共に共有していきたい。」「結果がすぐに出ないとしても、いつか必ずこの一歩が富津の未来につながる。魅力を発掘し、磨き上げ、この街を多くの人に選んでいただき、最終的には住む人たちが誇りと愛着を持てるまちになるように、その実現を目指す。」と語り、市役所一丸となって取り組んでほしいと呼びかけました。 次に、4の南房総教育事務所長、県立学校長、4市教育長懇談会ですが、10月9日に木更津市で県立高校長、特別支援学校長、教育事務所

細谷参事	長を迎えて4市教育長との懇談会が開かれました。 各学校長より取組が紹介され、懇親を深めました。 最後に、5の富津市退職校長会研修会・秋の会ですが、20日にいち川で開催され、「今、富津市の学校では・・・」という題で私から本市の取組を話し、退職校長の皆さんに富津市の学校教育の現状を知っていただきました。 以上で教育長報告を終わります。 何か、ご質問ご意見がございますか。 それでは、各課報告をお願いします。 始めに学校教育課からお願いします。 はい。学校教育課から報告いたします。 9月30日、食物アレルギー対応検討委員会を開催しました。 富津市学校給食アレルギー対応マニュアルの改定を中心に、校長、栄養教諭、養護教諭の代表からなる委員の方々と協議を行い、就学時健康診断時に配付予定の「学校給食における食物アレルギー対応フローチャート」や、「富津市学校給食における食物アレルギーの対応」などの文書内容の検討や修正を行い、より良い対応マニュアルの作成に努めました。 10月4日、第2回教育支援委員会を開催しました。 今回の対象者は、就学前児童13名、小学生5名の合計18名でした。 協議の結果、特別支援学校への就学判定が就学前児童2名、特別支援学級への就学判定が就学前児童7名、小学生4名で、それ以外の児童につきましては通常学級の判定となりました。 10月21日、富津市母と女性教職員の会による市長への要望の会がありました。 当日は、母と女性教職員の会から通学路や図書館等に関する要望書を受領し、市からの回答も踏まえ、要望の内容を中心に活発な意見交換が行われました。 10月21日から23日の3日間、198名の児童を対象として就学時健康診断を実施しました。 また、保護者の方々には、健康診断終了までの待機時間を利用し、健康づくり課から予防接種について、学校教育課から食物アレルギー対
------	--

岡根教育長 川島所長	応、給食申込み、第3子以降の給食費無料化について、教育センターからタブレットを用いた学習及び自宅Wi-Fi環境の整備について説明を行いました。 以上でございます。 はい。ありがとうございました。 続いて教育センター、お願いします。 はい。教育センターから報告いたします。 9月27日、第4回はまかせ教育相談を開催しました。 本教育相談は、対象の児童生徒、保護者、学級担任が参加し、不登校、発達障害、問題行動など様々な悩みについて、心療内科や精神科の専門医による相談を実施しております。 今回は2件の相談があり、今年度の相談件数は、現在のところ6件です。 9月21日から10月6日まで、NIPPON STEEL陸上競技場等の会場で君津支部新人体育大会が行われました。 結果は別紙一覧表のとおりです。数多くの素晴らしい成績の中から、県大会の出場を決めた生徒についてご紹介します。 (結果紹介) 10月8日、第2回学力向上推進委員会を開催し、読書の推進、ICTの活用の推進、全国学力学習状況調査の結果を踏まえた課題改善の取組について協議しました。 同日、富津公園にて、君津支部中学校駅伝・ロードレース大会が行われました。 駅伝では、男子・女子ともに、富津中が優勝しました。 10月9日、通学路安全対策協議会を開催しました。 協議会に先立ち、学校及び母と女性教職員の会から、市に危険箇所の改善要望があり、その要望を受け、通学路安全対策協議会の委員である市関係者・道路管理者・警察等で、8月末に現地確認、合同点検を行いました。 通学路安全対策協議会では、合同点検の結果を踏まえ検討した改善策について報告し、今後の方向性を協議しました。 今年度は、小学校23件、中学校5件の要望があり、いつまでにどのよ
--------------------------	---

	うな改善をするのか、学校にどのような安全対策を依頼するのか等について協議しました。 今後も、子供達が安全安心に登下校し、地域で活動できるよう努めてまいります。 10月16日、NIPPON STEEL陸上競技場等にて、君津支部小学校陸上競技記録会が行われました。結果は、別紙をご覧ください。 参加した児童一人一人がベストを尽くし、記録の更新に向けて一生懸命に取り組みました。 以上でございます。
岡根教育長	はい。ありがとうございました。
篠田課長	続いて生涯学習課、お願いします。
	はい。生涯学習課から報告いたします。
	9月27日、君津地方社会教育委員連絡協議会研修会が富津公民館多目的室で開催され、筑波大学の丹間康仁教授による「学校を核とした社会教育の振興」に関する講演において、地域で子ども達を育てていく事の必要性について伺い、4市の社会教育委員による意見交換が行われました。 10月14日スポーツの日に、市民ふれあい公園 NIPPON STEEL陸上競技場及び野球場を会場に、「スポーツでつながる心、広がる友だち」をキャッチフレーズに、浜田靖一代議士をはじめとする多くの来賓、招待者のもと、「富津市ふれあいスポーツフェスタ2024」を開催しました。 当日は、元オリンピック選手で世界陸上メダリストのマラソン選手、土佐礼子さんを迎え、ウォーク&ジョグ教室、陸上競技、キックターゲット、ホームランチャレンジ、モルック体験やスラックラインといったニュースポーツ、また、健康づくりについての意識をもっていただくよう体力測定、血圧や体脂肪の計測、フレイルチェック等を競技種目とし、参加者はスポーツを楽しんでいました。 教育委員の皆様方もご多用の中、ご参加していただき誠にありがとうございました。
岡根教育長	なお、参加人数は幼児から高齢者まで、延べ1,253名でした。 以上でございます。 はい。ありがとうございました。

長谷川館長	続いて公民館、お願いします。 はい。公民館から報告いたします。 10月20日、令和7年富津市二十歳の集い 第3回実行委員会を富津公民館で実施いたしました。 当日は、実行委員長を中心に、式典の役割分担、記念品、記念行事などについて、話し合いが行われました。 なお、今回の記念品は、「ボールペン」、記念行事は、思い出にまつわるビンゴゲームの予定です。 また、式典開始前のスライドショーも行う予定となっています。 今後も、月1回程度会議を開催し、式典当日に向けて取り組んでいくこととしております。 以上でございます。
岡根教育長	はい。ありがとうございます。 各課報告の中で御質問・御意見はございますか。 はい。嶋野委員。
嶋野委員	君津支部中学校駅伝大会について、陸連の関係でお手伝いさせていただきましたが、女子の部で大佐和中学校がエントリーしていなかったのが少し残念でした。 君津支部の全中学校が、部活動に関係無く学校の代表者を出して競い合う大会はこの駅伝大会くらいだと思います。 各学校は一つでも順位を上げられるように夏休み前から切磋琢磨しながら練習を重ね、当日は選手に選ばれなかった生徒も大きな声援を送る姿を見ていると、母校への愛、仲間との友情を感じます。 個人的には大佐和中の女子もなんとか5人揃えて、1チームだけでも参加させる指導も必要だったと思いますが、どのような理由で参加しなかったのかご存じであれば教えてください。
川島所長	委員の仰る通り、ただ体力を向上させるだけではなく、母校への愛や、友情を育むなど、人間性を高めるうえで大切なものと考えております。 当日、大佐和中の校長から話を伺いましたが、メンバーを集める努力はしたものの、人数が揃わなかったとのことでしたので、今後、少しでも参加ができるようご検討くださいと伝えたところです。
藤平委員	通学路安全対策協議会の件で、小学校で23、中学校で5件の要望があ

川島所長	ったと伺いました。 毎年、安全対策について母と女性教職員の会からも細かな要望が出ているかと思いますが、継続案件として毎年要望に上がっていて、改善されていないものはどのくらいあるのか、また、スクールバスの運行により停留所も設置され、徒歩が前提の時と比較して改善の必要な箇所や安全対策の視点について変化が生じていれば教えてください。 基本的には、要望通りの対応ができるもの、要望とは別に対応するもの、次年度に引き継ぐものなどに分けて対応していて、道路幅の拡幅や民地の問題など、どうしても改善が困難なものについては、その旨を説明し、学校で安全対策の指導をしてもらっていますので、再度要望に上がらないようにご理解を求め、仮に上がってきた場合は丁寧に説明している状況です。 昨年度からの継続で今年度対応予定だったものについては、協議会前までに対応が完了しています。
岡根教育長	母と女性教職員の会による市長要望時には、横断歩道や信号を作る場合など警察や県も関係するため、様々な関係団体と協議していて、道幅や土地の所有者の問題もあってすぐには解決できないこともあります。対処できるものについては全力を尽くすので、あきらめずに要望として出してくださいとの話が市長からありました。
川島所長	スクールバスによって特に危険が想定されるのは乗り降りの場面です。降りた後はバスが発車した後、視界が開けてから道を渡るなど、各学校で指導をするようにしていきます。 また、スクールバスの停留所から自宅までは指定の通学路からは外れてしまうため、通学路安全協議会には上がってこないことが多いのですが、その中でも危険箇所については、協議会とは別の場でも必要に応じて協議し、対応をしていきたいと思います。
藤平委員	通学路という括りとは別に対応を検討するということですね。 わかりました。
細谷参事	スクールバスについては、停留所付近の安全については確認をしています。 また、今年度から担当が実際にスクールバスに乗って、運行状況についても確認しているところです。

池田教育長職務代理者	ふれあいスポーツフェスタは大人から子どもまで楽しめる工夫がなされていて、私も楽しむことができました。
篠田課長	久々の開催となりましたが、以前から場所の都合上、地区によるの参加状況の偏りがあったかと思いますが、今年状況、特に天羽地区の子ども達の状況はどうだったのか、もし少ないようであればバスを出すなど、満遍なく各地区の子ども達が参加できるような環境作りも必要だと考えますので、今年状況を教えてください。
池田教育長職務代理者	居住地区の設問を設けたアンケートを実施しましたが集計が終わっていないため、出来次第報告します。
岡根教育長	天羽地区からの移動手段についても今後検討したいと思います。 出来るだけ子ども達が参加できるような対策をとっていただければと思いました。 他にございますか。 無いようですので、次に報告事項に入ります。 報告第1号「専決事項の報告について」、説明をお願いします。
樋口課長	はい。報告第1号について、ご説明いたします。 3ページをご覧ください。後援申請がありましたので、富津市教育委員会行政組織規則第9条第1項の規定により、4ページに記載のとおり3件をそれぞれ承認しましたので、同条第2項の規定により報告いたします。 個別の内容についての説明は割愛させていただきますので、ご了承ください。 後援申請の報告については以上でございます。
岡根教育長	ありがとうございました。 その他に委員の皆さんから何かございますか。
池田教育長職務代理者	各課報告の通学路安全対策について、もちろん危険個所の改善は大切ですが、同時に子ども達への交通安全教育というのも重要だと思っています。 残念ながら先月、松戸市で小学生が亡くなる事故がありました。 J A Fで毎年、信号機のない場所で歩行者が道を渡ろうとしている時の車の停止率を調査しているのですが、千葉県は31.9%、全国45.1%、千葉県は全国37位で、停止率が悪いです。逆に高いのは長野県で84.4%、

岡根教育長 樋口課長	調査を始めて以来長野県がずっと 1 位です。 理由の明確な根拠は無いのですが、長野県は子どもの交通安全教育を徹底しているようで、道を渡る際の安全確認や意思表示の他に、渡り終えた後に停まってくれた車に対して会釈をするといった感謝の気持ちを示すことも徹底しているそうです。感謝されて気分の悪い人はいませんので、歩行者とドライバーとの間で交通安全に対する意識が好循環で回っているのだと思います。 富津の子どもも停まるとよく会釈をしてくれますので、その辺りの指導は徹底されていると思います。今後も子ども達への交通安全教育が充実するようお願いしたいと思います。 他にございますか。 無いようですので、教育総務課、お願いします。 はい。それでは、次回の教育委員会会議の日程でございますが、11 月 21 日、木曜日、10 時から 401 会議室において開催を予定しておりますので、よろしくお願いします。 ありがとうございました。 以上で教育委員会定例会を終了させていただきます
--------------------------	--